

2025年12月期 第3四半期

決算説明資料

2025年11月



東京証券取引所

<証券コード：8508>

免責事項および注意事項

- ◆ 本資料に記載された将来情報等は資料作成時点での当社の認識、意見、判断又は予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 説明会および本資料は、当社をご理解いただく為の情報提供を目的としたものであり、当社又は子会社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、正確性を期す為に慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって、生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ◆ セグメント収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んだ営業収益を表示しています。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益を当期純利益と表示しています。
- ◆ 2025年12月期 第1四半期連結会計期間において、Prospect Asset Management, Inc. を、2025年12月期 第2四半期連結会計期間において、J Trust Credit NBFIIを非継続事業に分類しております。その為、2024年12月期 第3四半期の「営業収益」「営業利益」「税引前利益」については、組替えて表示しております。
- ◆ 韓国及びモンゴル金融事業で金融事業を営んでおりましたJ Trust Credit NBFIIの全株式を譲渡し、連結の範囲から除いたことにより、セグメントの名称を「韓国及びモンゴル金融事業」から「韓国金融事業」に変更しております。

2025年12月期 第3四半期決算のポイント

前期の通期実績の営業利益61億円を3Q時点ですでに超過

日本金融事業は主力4社※が順調に推移し、継続成長

※4社:日本保証、パルティール債権回収、Nexus Card、Jトラストグローバル証券

韓国金融事業は計画よりも前倒しに改善が進む

東南アジア金融事業で貸倒関連費用が増加し、3Qでは減速



**セグメント毎に強弱はあるものの、日本・韓国金融事業が
マイナス分を補うことで、通期計画の達成を目指す**



- 01 | 2025年12月期 第3四半期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 第3四半期 セグメント別業績と取り組み
- 03 | 2025年12月期 第3四半期 株主還元およびIR活動について

2025年12月期 連結経営成績（前年同期比）

- 為替の影響および不動産事業において、販売用不動産の売却が後ずれする等の要因により、減収
- 営業利益は、主に韓国金融事業の改善が進んだことにより、増益
- 当期純利益は、為替差損の計上等により、減益

	2024/3Q 《実績》	2025/3Q 《実績》	前年同期比
営業収益	967億円	920億円	-47億円
営業利益	49億円	63億円	+14億円
税引前利益	61億円	59億円	-2億円
当期純利益	40億円	26億円	-14億円

(※)億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2025年12月期 連結経営成績（計画比）

- 3Q時点では各項目が計画未達となっているものの、4Qには不動産事業等の収益計上を見込んでおり、通期計画を据え置き

	2025/3Q 《計画》	2025/3Q 《実績》	計画比
営業収益	1,000億円	920億円	-80億円
営業利益	69億円	63億円	-6億円
税引前利益	75億円	59億円	-16億円
当期純利益	37億円	26億円	-11億円

(※)億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

事業セグメント別営業利益（計画比）

- ▶ セグメント毎に強弱はあるものの、日本金融事業および韓国金融事業が計画値を上回り、連結業績を牽引

	2025/3Q 《計画》営業利益	2025/3Q 《実績》営業利益	計画比
日本金融事業	49億円	55億円	+6億円
韓国金融事業	4億円	15億円	+11億円
東南アジア 金融事業	20億円	10億円	-10億円
不動産事業	8億円	1億円	-7億円
投資事業	1億円	-5億円	-6億円

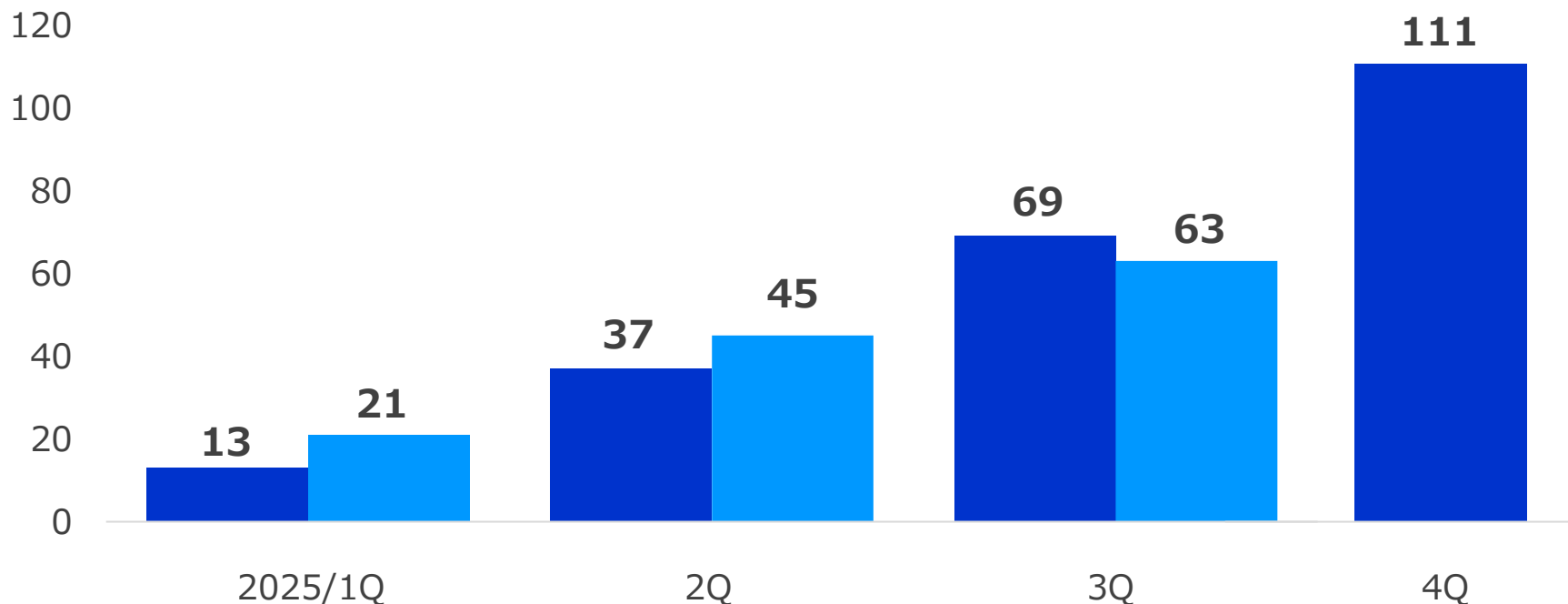
(※)億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2025年12月期 四半期毎の連結営業利益の推移

- 3Q累計では計画比6億円の未達となっているものの、4Qには不動産事業等の収益計上を見込んでおり、通期111億円の計画を据え置き、計画達成を目指す

連結営業利益計画と実績（累計）

(億円) ■ 計画 ■ 実績



(※)億円未満を切り捨てて表示した数値の差額を億円単位で計算しています。



- 01 | 2025年12月期 第3四半期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 第3四半期 セグメント別業績と取り組み
- 03 | 2025年12月期 第3四半期 株主還元およびIR活動について



日本金融事業

Financial business in Japan



日本保証

PARTIR
パルティール債権回収株式会社



Nexus Card

 MIRAI



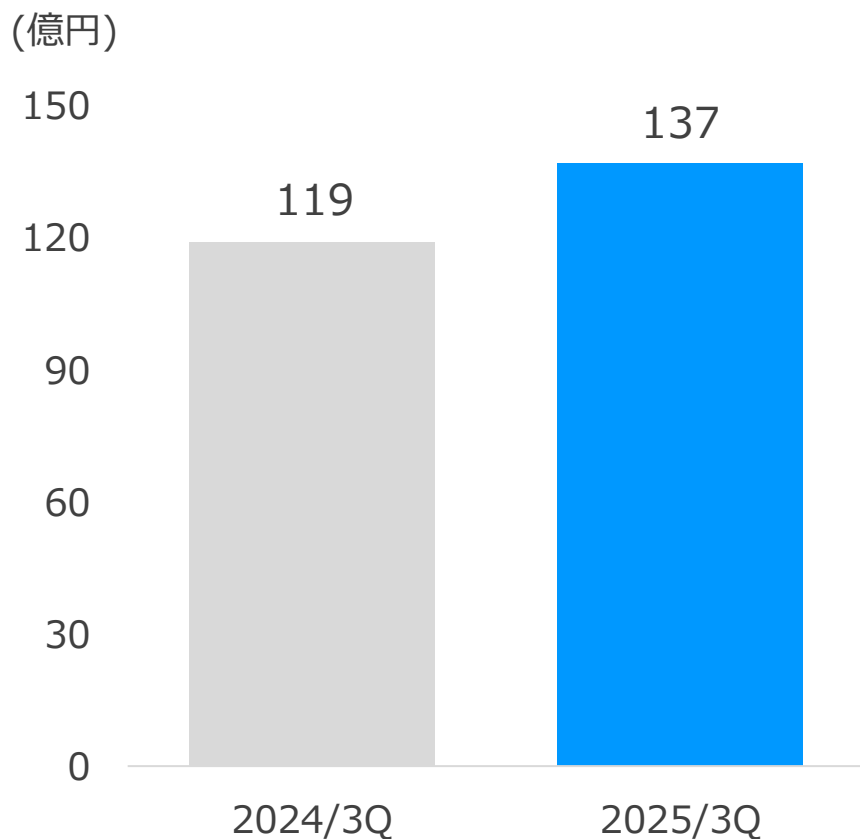
JTG証券

Jトラストグローバル証券

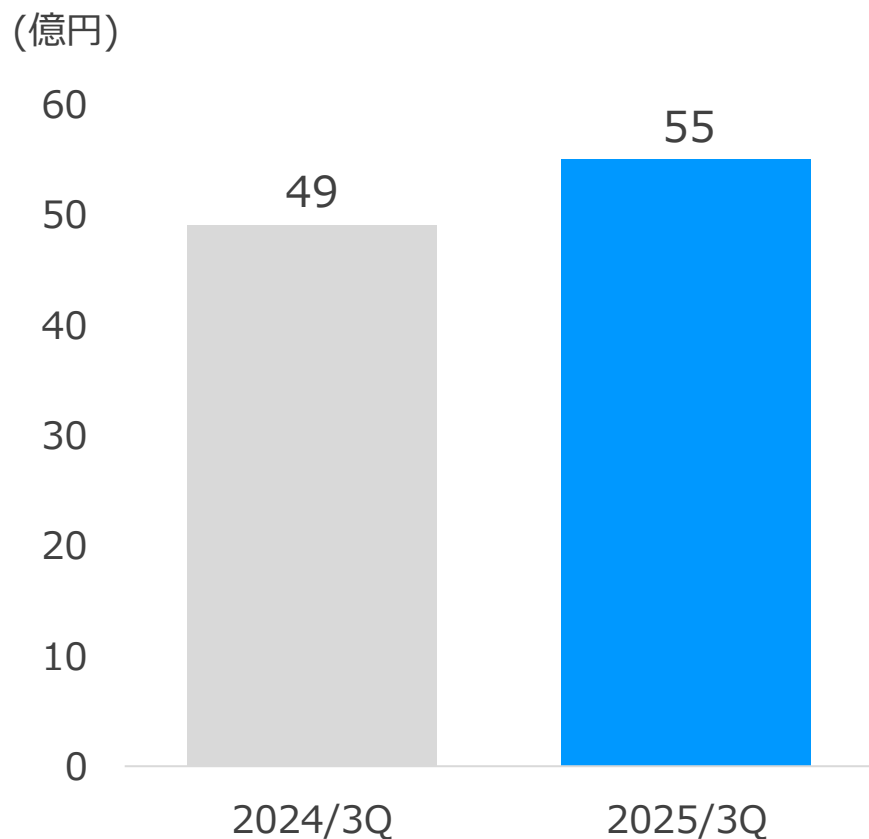
日本金融事業の営業収益と営業利益（前年同期比）

- 保証事業とサービス事業の好調持続に加え、証券事業と割賦事業による手数料収益の増加により、増収増益
- 引き続き、グループシナジーによる安定成長を図る

営業収益



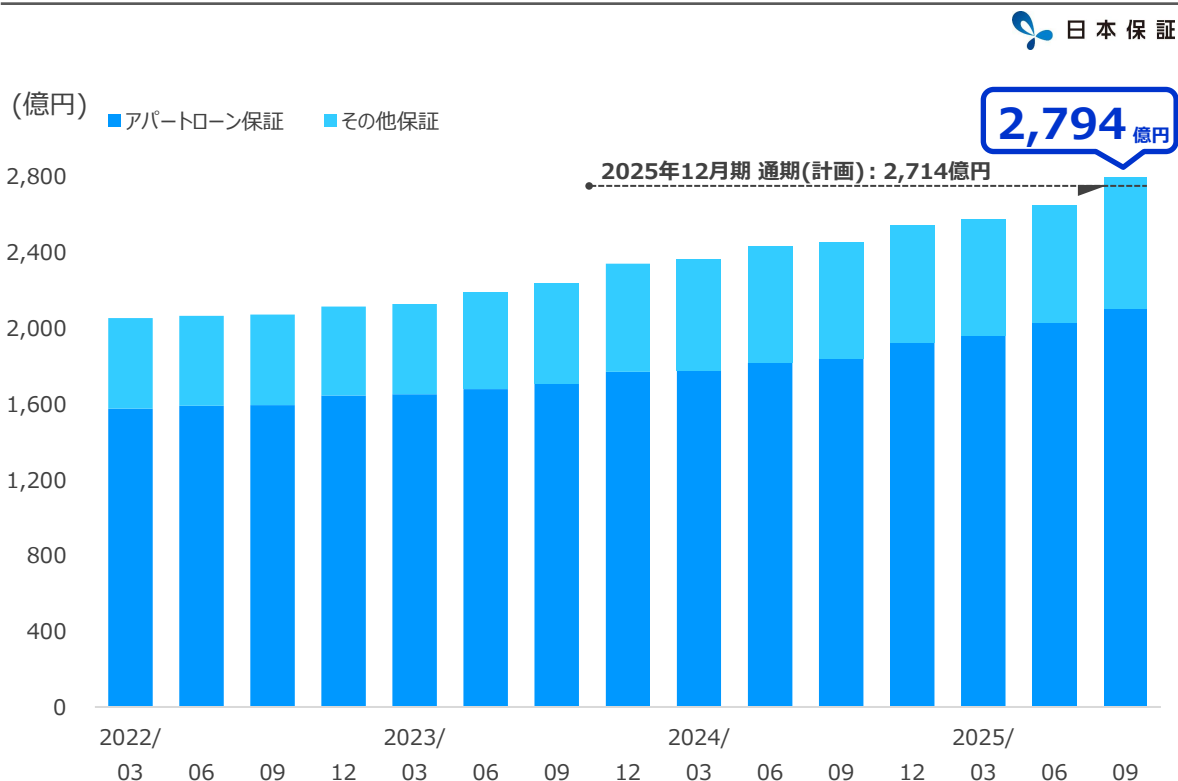
営業利益



債務保証残高の推移

- 債務保証残高は順調に積み上がり、今期計画を3Qで達成
- 第一地銀では初となる山陰合同銀行と不動産購入ローンに関する包括保証契約を締結

債務保証残高 (※)



(※) 債務保証残高は、保証債務総合計の数値



山陰合同銀行、海外不動産購入向けローン 富裕層顧客を開拓

山陰 2025年10月7日 18:10

保存

共有 印刷 メール 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷

山陰合同銀行は、海外不動産の購入資金向けローン商品を10月末にも導入する。分散投資の対象として海外不動産を活用する富裕層のニーズに対応する。拠点の山陰に加えて東京や関西など都市部で顧客を開拓し、新たな収益源に育てることをめざす。

トラスティ傘下で信用保証を手がける日本保証（東京・渋谷）と9月に包括保証契約を締結した。

山陰合銀が始める「海外不動産購入ローン」は米国のハワイ州、カリフォルニア州で不動産を購入する顧客が対象だ。融資金額は100万円以上3億円以内で10万円単位。貸出金利は保証料を加えた同行所定の利率となる見込み。

海外の投資先物件を担保にして融資を受けられる仕組みで、顧客の利便性が高まる。従来は国内にある不動産などを担保として準備する必要があった。日本保証からカントリーリスクや現地の法制度への対応などを含めた与信ノウハウの提供を受ける。

山陰合銀の地盤である山陰は高齢化や人口減が進み、持続的な成長のためにも新たな収益源の確保を迫られている。富裕層向け融資商品の投入で、東京など都市部での取引拡大にもつなげたい考えだ。

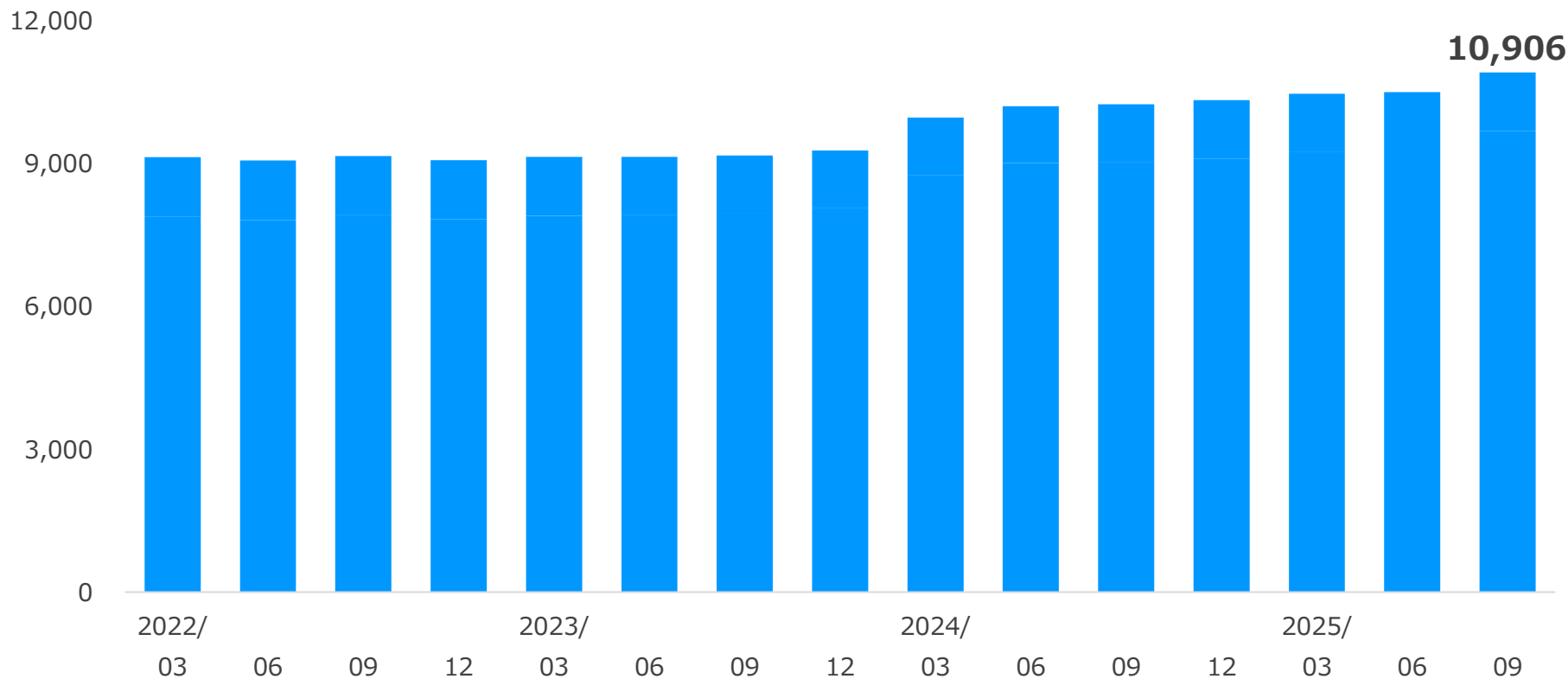
※出典：2025年10月7日(火)付、「日本経済新聞」掲載

請求債権残高の推移

- 順調に回収が進む中でも債権購入が進み、請求債権残高は増加
引き続き、回収業務に注力し、営業利益増大を見込む

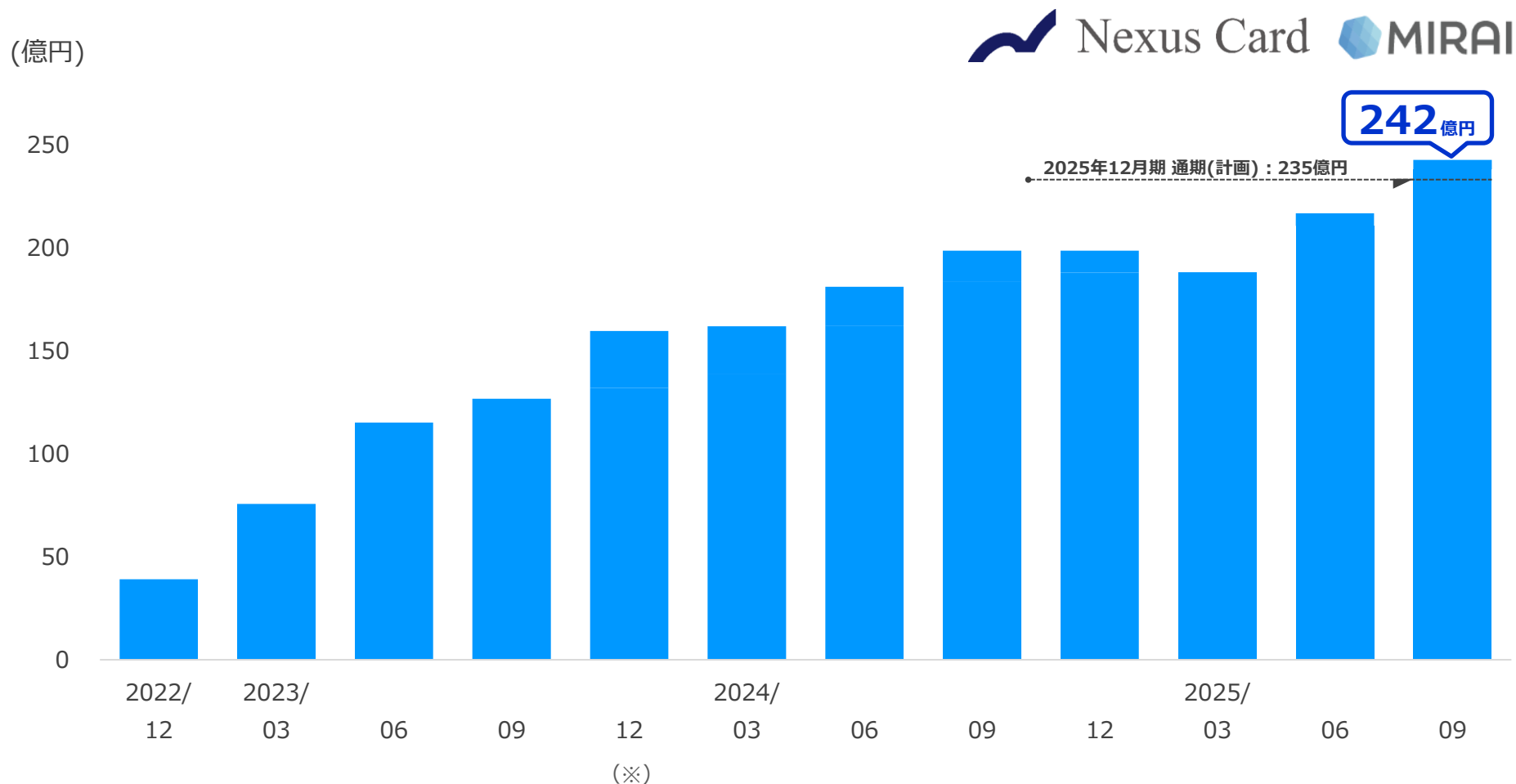


(億円)



割賦売掛金残高の推移

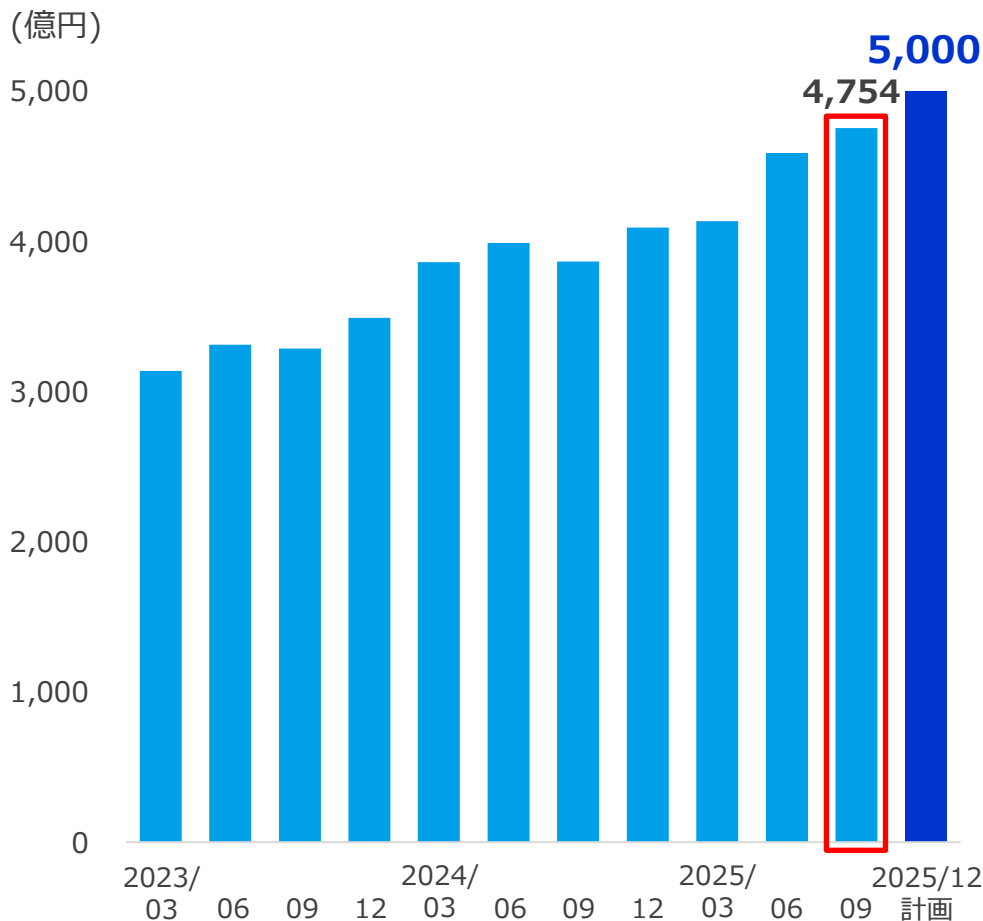
➤ 割賦売掛金残高は順調に積み上がり、今期計画を3Qで達成



(※) MIRAIは2023年10月より連結子会社化

預かり資産の推移

- 預かり資産は今期計画の5,000億円達成に向けて、順調に増加
 - 10月6日より、欧州株の新規取扱いを業界最低水準の国内委託手数料※で開始
- ※業界最低水準の国内委託手数料は、営業員アドバイスありの場合。2025年9月16日時点・JTG証券調べ。



欧州株の魅力



フランス・ドイツの企業へ直接投資できる

欧州個別株を日本国内で取引できる証券会社が少なく、欧州株への投資は、投資信託などを通じた間接的手法が主流でしたが、JTG証券では欧州の一流企業株を国内で直接取引可能。例えば、お持ちのバッグのブランドを運営している企業等に直接投資ができます。



欧州経済の回復と成長期待

ECBの利下げや財政拡張、賃上げの進展により、欧州経済は再び活力を取り戻しつつあります。国際協調の機運が高まる中、地政学的リスクを乗り越える投資先として欧州株は魅力を増しています。



分散投資は、安定した資産形成の基本

日本株や米国株に加えて欧州株をポートフォリオに組み入れることで、地域分散によるリスクヘッジが可能になります。異なる経済圏の動向を取り込むことで、市場変動への耐性を高め、安定した資産運用を実現いたします。

業界最低水準の手数料

European Stocks
欧州株

ヨーロッパの名門企業を、
あなたのポートフォリオに

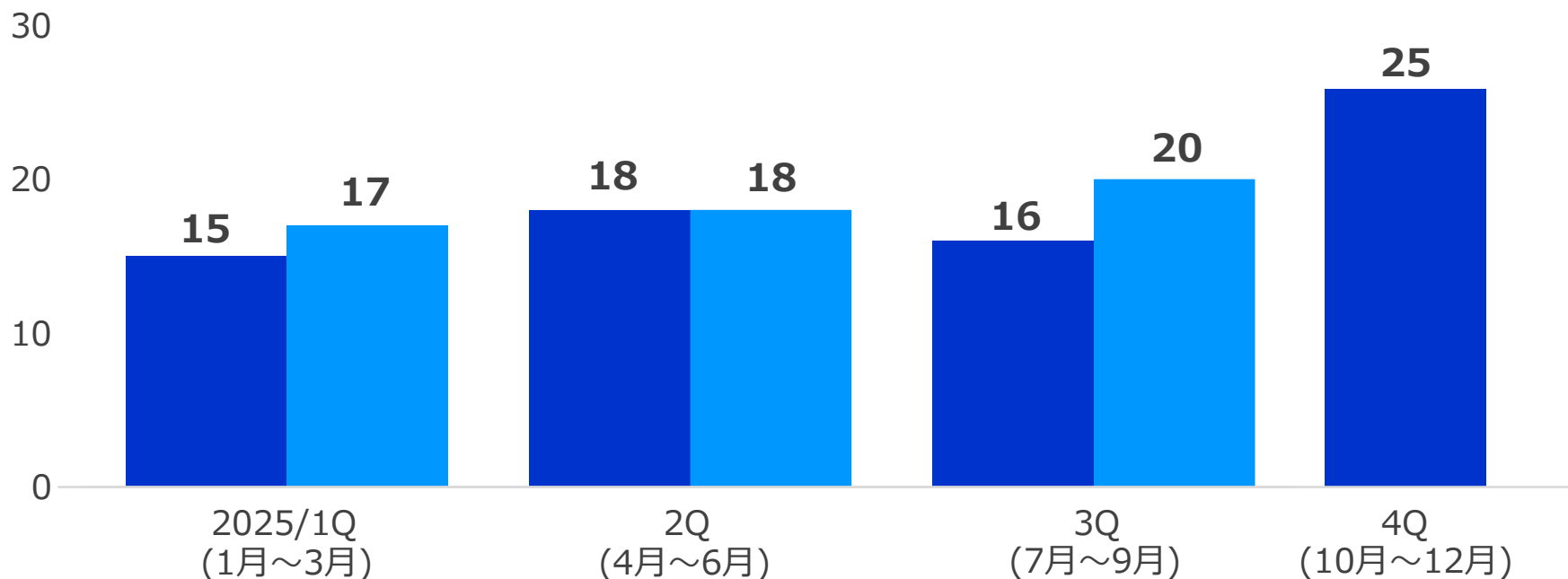
10/6
リリース

2025年12月期 四半期毎のセグメント利益の推移 (日本金融事業)

➤ 各会計期間の計画を達成し、3Q累計では計画比6億円の上振れ

日本金融事業の営業利益計画と実績 (四半期会計期間)


(億円) ■ 計画 ■ 実績





韓国金融事業

Financial business in South Korea

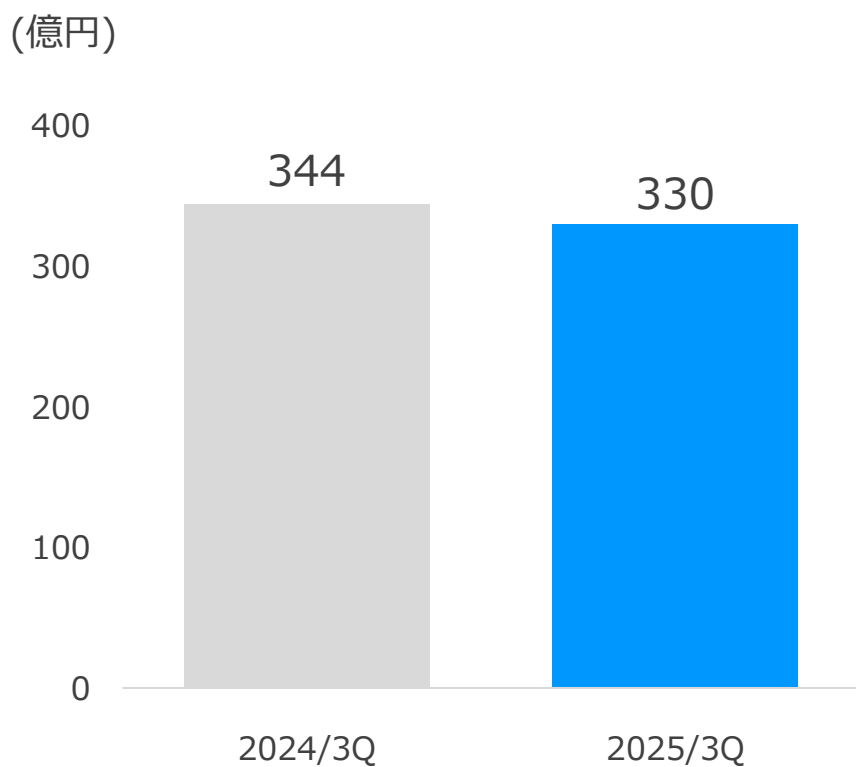
 JT 親愛貯蓄銀行  JT 貯蓄銀行

 Jump Tomorrow
TA Asset

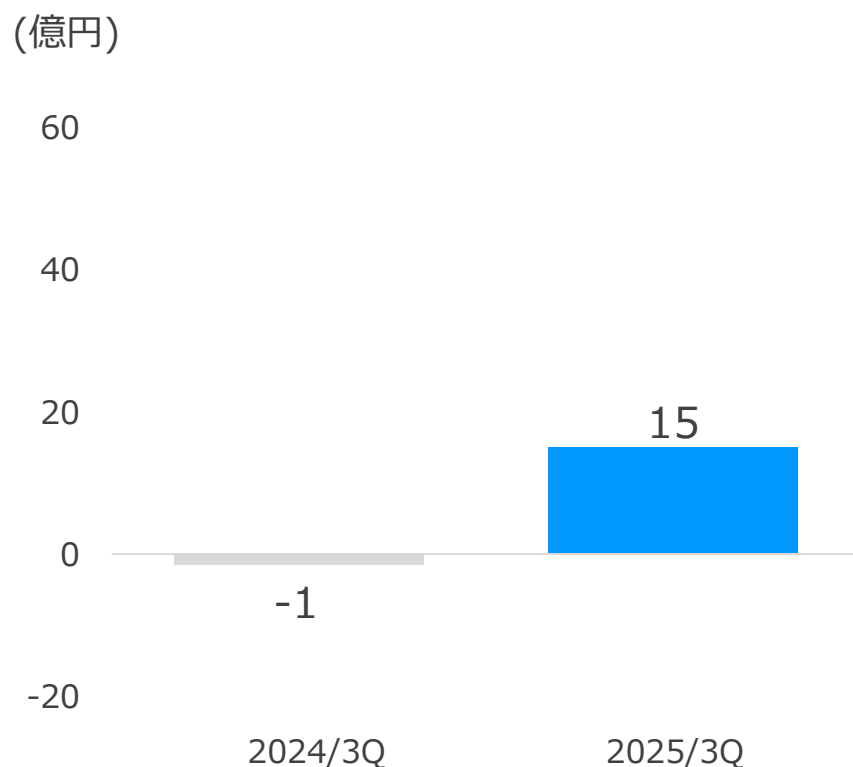
韓国金融事業の営業収益と営業損益（前年同期比）

- 営業収益は、貯蓄銀行業において為替が円高に振れたことに伴い、円換算後の貸出金利息収入が減少したこと等により、減収
- 営業利益は、預金利息費用が減少したことや、不良債権の売却に係る債権売却損が減少したこと等により、前年同期比16億円改善

営業収益



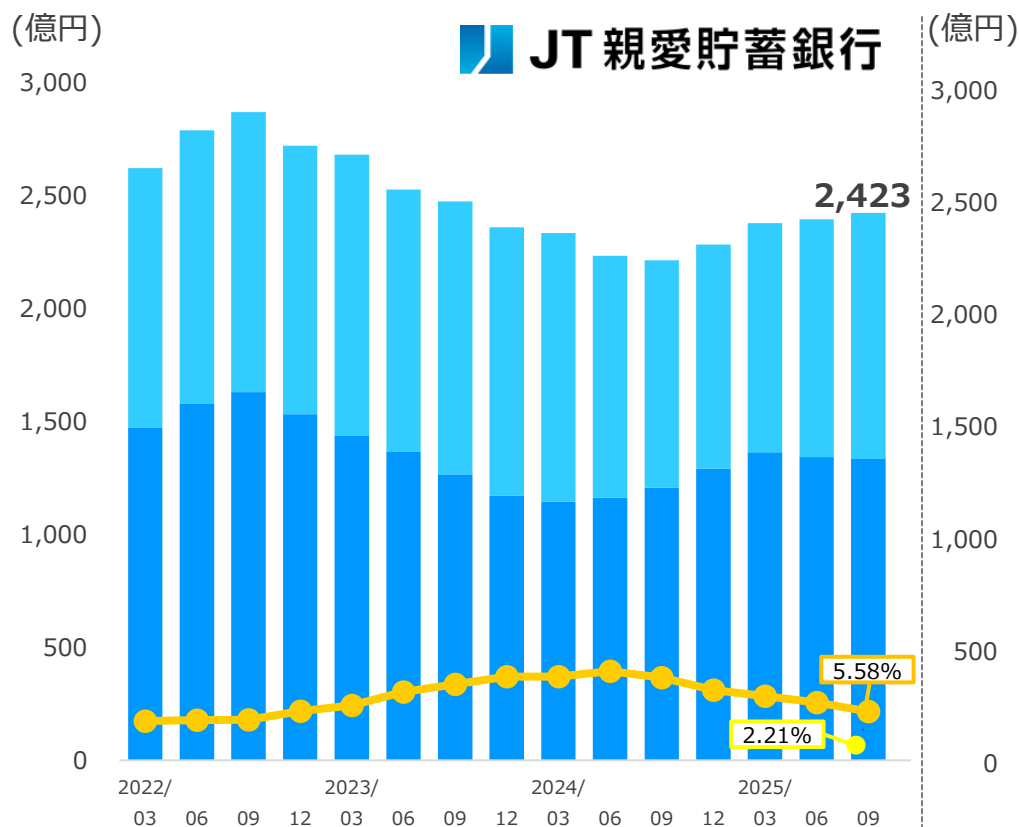
営業損益



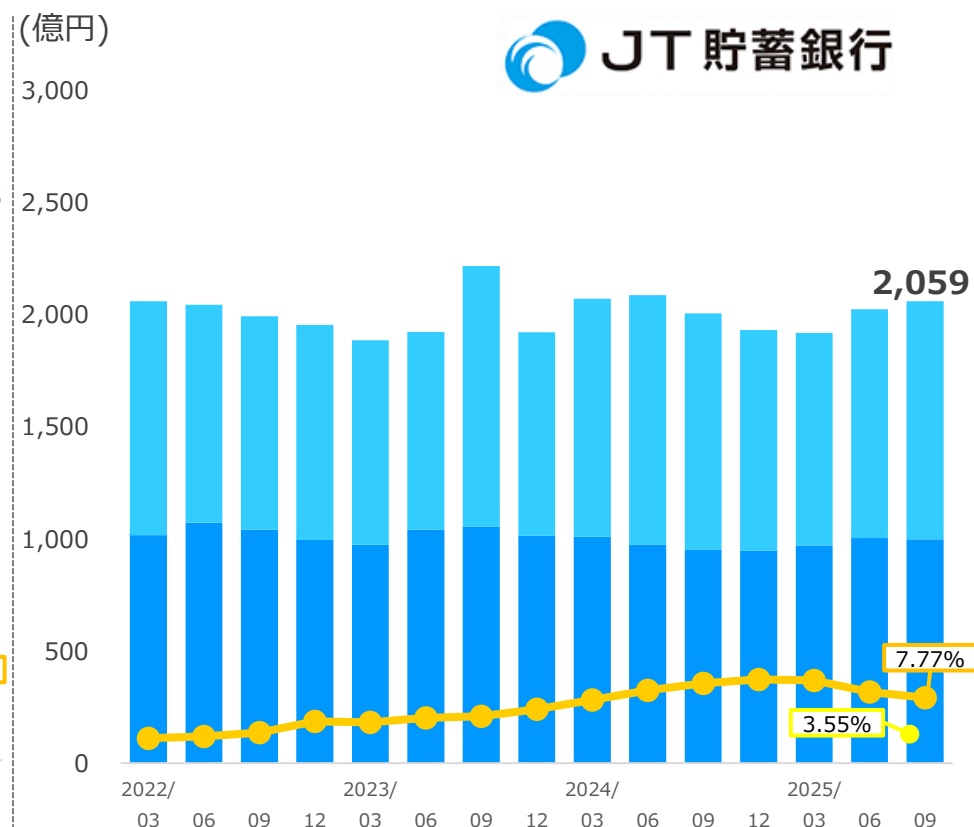
韓国の貯蓄銀行2行の貸出残高と不良債権比率の推移

- 貸出残高は安定的な増加を目指す
- 不良債権に対しては、十分な担保設定と貸倒引当金で対応済

■ 個人向け ■ 法人向け ● 不良債権比率（グロス/90日以上延滞債権） ● 不良債権比率（ネット）



JT 貯蓄銀行

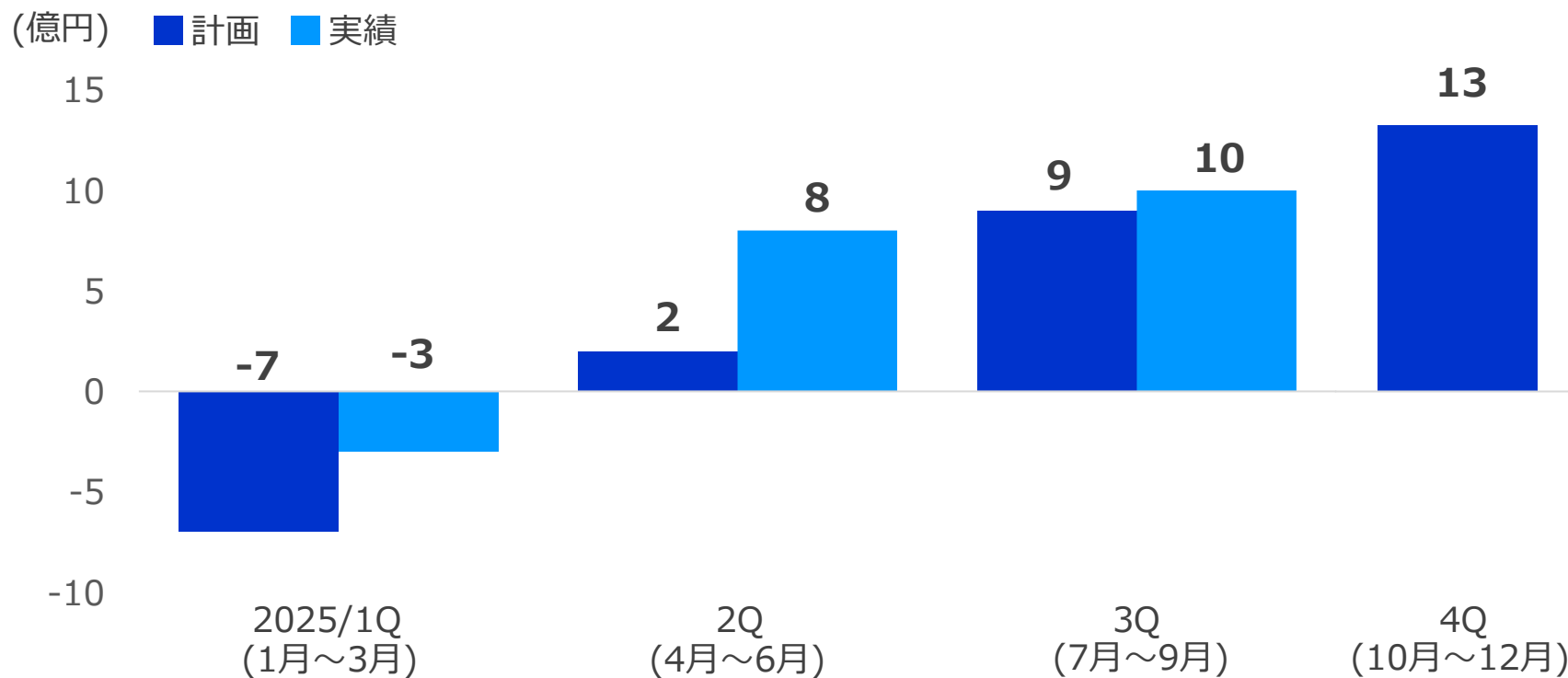


(※) 数値は現地通貨に2025年9月末レート（1韓国ウォン=0.1063円）を乗じて表示

2025年12月期 四半期毎のセグメント利益の推移 (韓国金融事業)

➤ 各会計期間の計画を上振れて着地し、3Q累計では計画比11億円の上振れ

韓国金融事業の営業利益計画と実績 (四半期会計期間)





東南アジア金融事業

Financial business in Southeast Asia

 **J TRUST BANK**
Jトラスト銀行

 J Trust Royal Bank

 **J TRUST INVESTMENTS**
Indonesia

 **TA Asset**
PT TurnAround Asset Indonesia

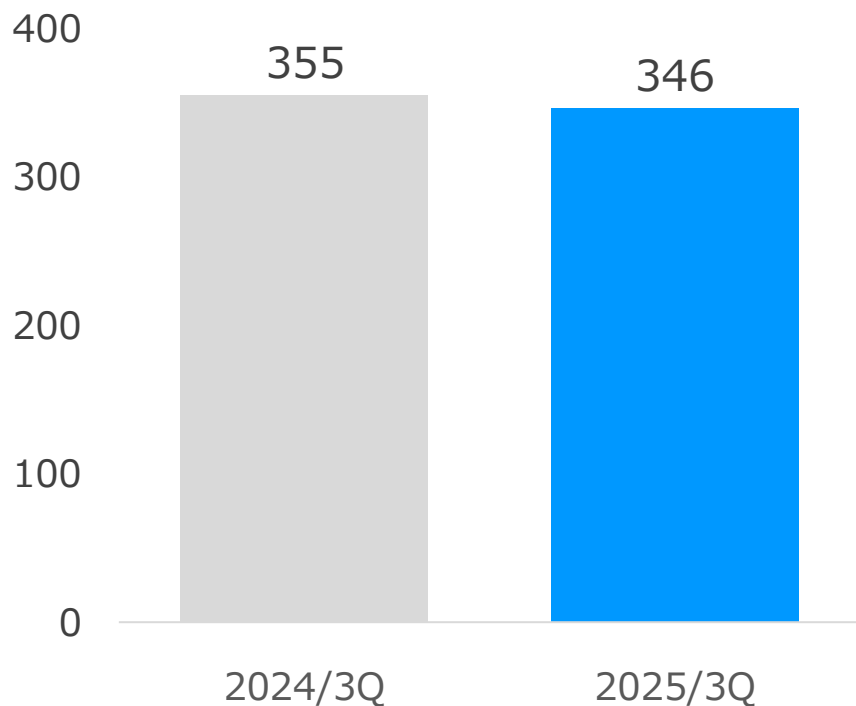
 **J TRUST CONSULTING**
Indonesia

東南アジア金融事業の営業収益と営業利益（前年同期比）

- 営業収益は、Jトラスト銀行インドネシアの貸出金の減少と為替の影響で、円換算後の貸出金利息収入が減少したことにより、減収
- 営業利益は、貸倒関連費用の増加等により、減益

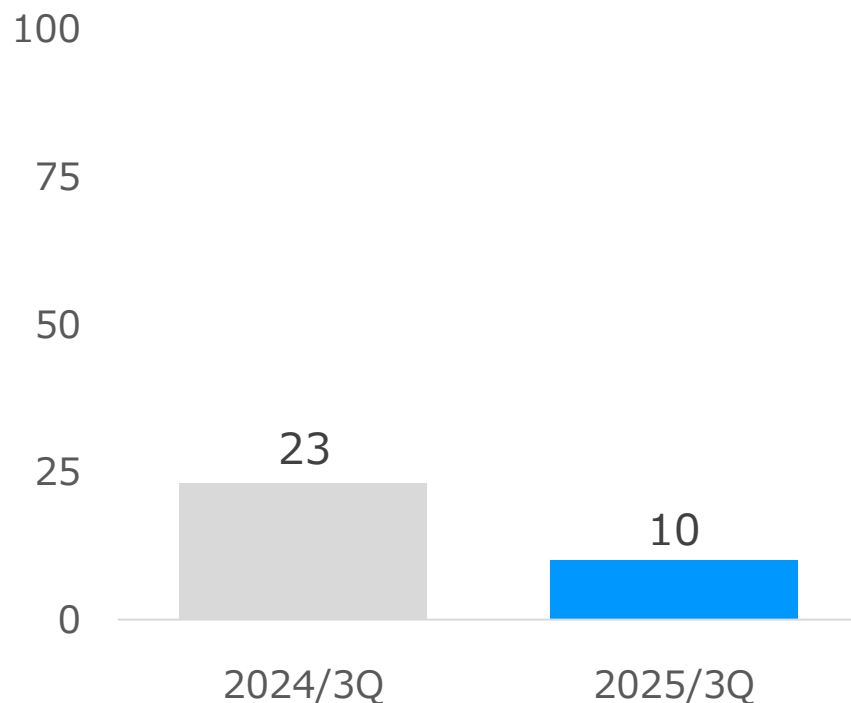
営業収益

(億円)



営業利益

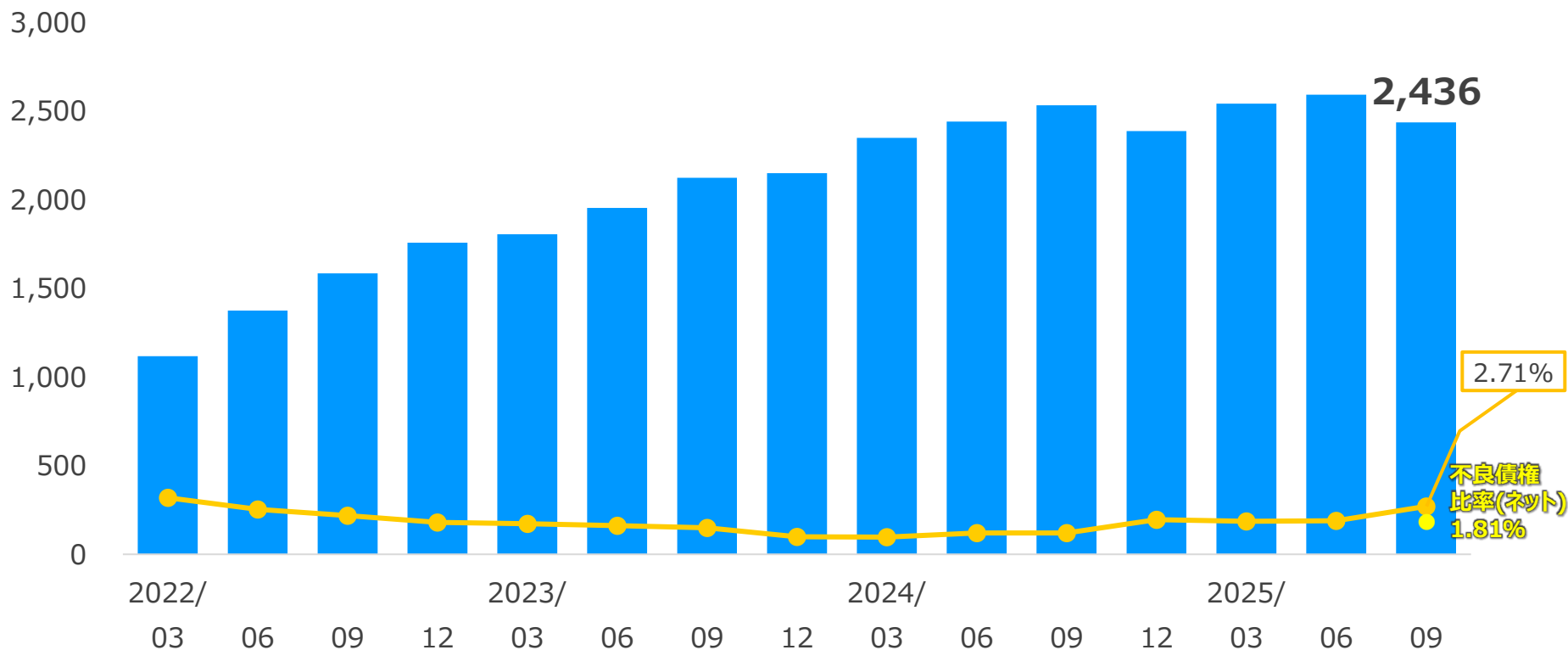
(億円)



Jトラスト銀行インドネシアの貸出残高と不良債権比率の推移

- 今期に入り、自己資本比率を踏まえて、貸出残高およびポートフォリオの中身をコントロール
- 今期の増資については、実行済と見込みで約20億円を見込む

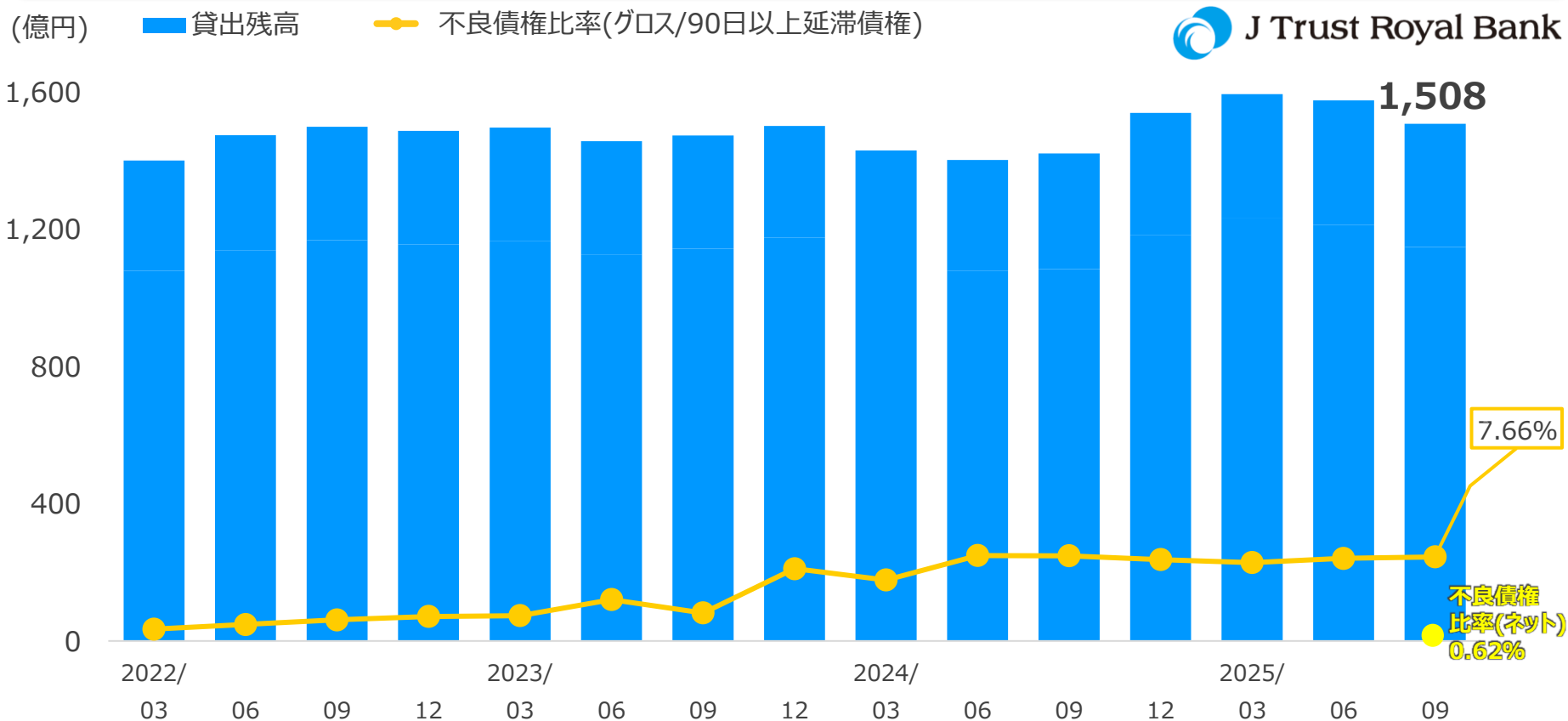
(億円) ■ 貸出残高 ● 不良債権比率(グロス)



(※) 数値は現地通貨に2025年9月末レート（1インドネシアルピア=0.0090円）を乗じて表示

Jトラストロイヤル銀行(カンボジア)の貸出残高と不良債権比率の推移

- 2026年度から予定されているカンボジア中央銀行による、自己資本比率規制の強化を見据え、貸出残高とポートフォリオの中身を調整
- 不良債権に対応した貸倒引当金を計上し、ネットの不良債権比率は0.62%と低位で推移



(※) 不良債権比率は、カンボジア中央銀行(NBC)への報告数値

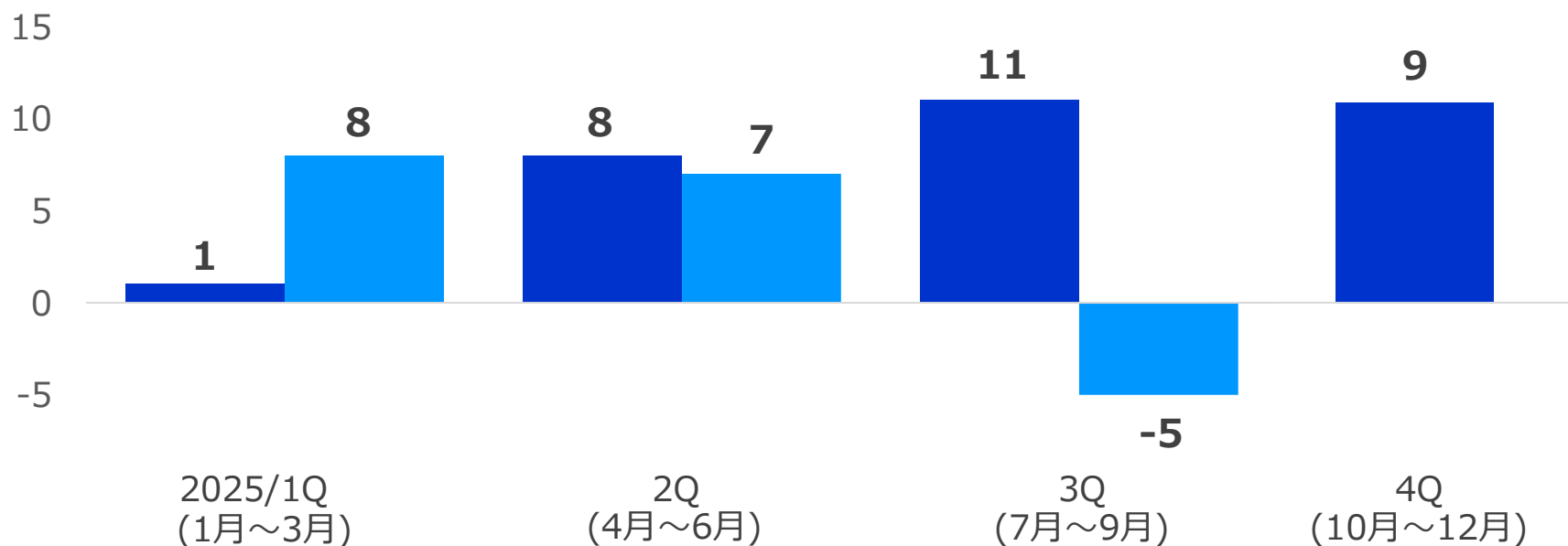
(※) 数値は現地主要流通通貨(USドル)に2025年9月末レート(1USドル=148.88円)を乗じて表示

2025年12月期 四半期毎のセグメント利益の推移 (東南アジア金融事業)



- Jトラスト銀行インドネシアおよびJトラストロイヤル銀行において、不良債権処理を実施したこと等により、3Qは営業損失となり計画未達
- 不良債権の回収強化等により、業績の回復に取り組み中

東南アジア金融事業の営業利益計画と実績 (四半期会計期間)

(億円) ■ 計画 ■ 実績



東南アジア金融事業の現状と今後の見通し

	影響 区分	影響の内容	現状の インパクト	今後の見通し
【インドネシア】  J TRUST BANK <small>Jトラスト銀行</small>	規制面	当局の指示に基づき、 貸倒引当金の積み増しを実施	—	徐々に落ち着く見通し
	経済 環境面	米国関税の影響により輸出企業が苦戦	—	徐々に落ち着く見通し
	資本面	年内に約20億円の増資を見込む	+	資本増強により収益確保
【カンボジア】  J Trust Royal Bank	規制面	2026年より自己資本比率規制の強化 ⇒貸出の抑制・不良債権の処理	—	徐々に落ち着く見通し
	経済 環境面	カンボジア経済の停滞 ⇒中国系投資家がカンボジアに戻らず、 債権の不良化と回収遅延	—	徐々に落ち着く見通し

東南アジア金融事業は3Q以降、調整局面が継続するも
不良債権の回収を進めること等により、徐々に改善する見通し

連結業績は日本・韓国金融事業が補うことで、今期以降の事業計画の達成を目指す



不動産事業

Real Estate business

 J-GRAND

 gro-bels

 ライブレント

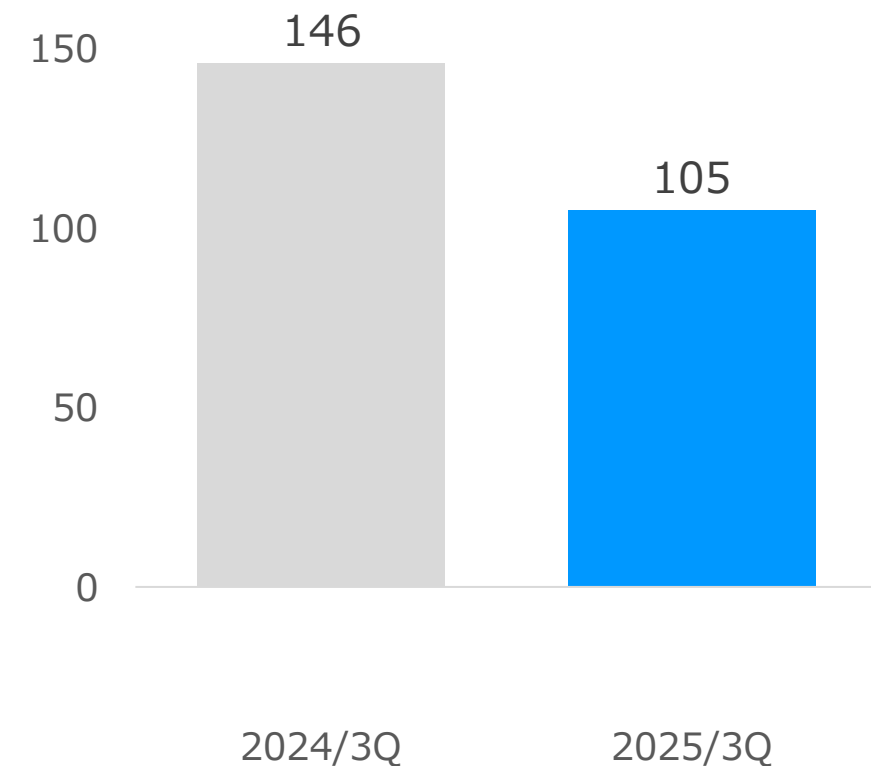
 グランド保証

不動産事業の営業収益と営業利益（前年同期比）

- 新築物件の建築確認に時間を要し、販売予定物件の売却が後倒しになる等、販売収益が減少したことにより、減収減益となっているものの、後倒しになった物件の収益化は、一部来期にずれ込むものもあるが、今期の4Qに集中する見込み

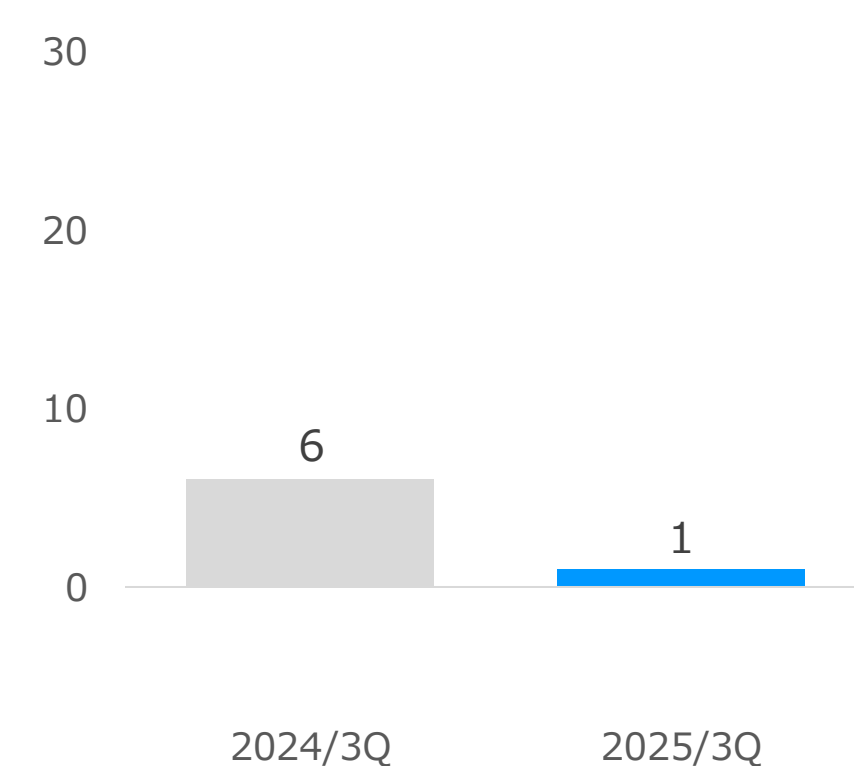
営業収益

(億円)



営業利益

(億円)





投資事業

Investment business

 J TRUST ASIA

投資事業の営業収益と営業損失（前年同期比）

- シンガポール高等法院の勝訴判決に基づく債権回収(当初計画分は既に回収済)および弁護士費用の減少により、損失幅が圧縮
- 4Qは、これまでの投資活動からの収益回収による利益獲得に注力

営業収益

(億円)

10

5

0

0

1

2024/3Q

2025/3Q

営業損失

(億円)

0

-5

-10

-15

-12

-5

2024/3Q

2025/3Q



- 01 | 2025年12月期 第3四半期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 第3四半期 セグメント別業績と取り組み
- 03 | 2025年12月期 第3四半期 株主還元およびIR活動について

株主還元について（自己株式の消却）

➤ 株主還元と資本効率の改善を目的として、現在保有している自己株式のほとんどを消却予定

■ 消却に係る事項の内容

※2025年11月13日付 適時開示「自己株式の消却に関するお知らせ」より

消却する株式の種類	普通株式
消却する株式の総数	4,142,400 株 (消却前の発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 3.10%)
消却予定日	2025年11月21日

株主還元について（配当金について）

➤ 2025年12月期の配当金は第50期の記念配当1円を含め、17円の予定（期末に一括で配当）

1株当たり配当金	17円
権利付き最終日	2025年12月26日(金)
権利確定日	2025年12月30日(火)

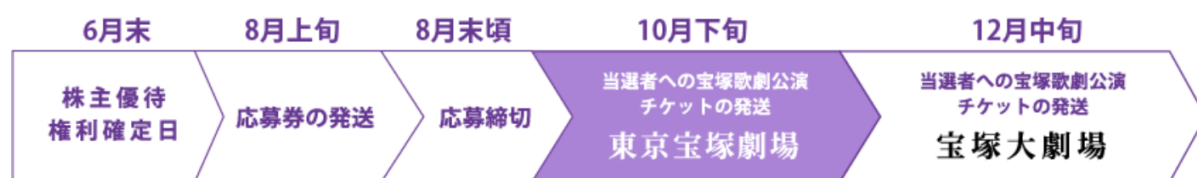
2025年12月期(6月末) 株主優待について

- 「東京宝塚劇場 宙組貸切公演」および「宝塚大劇場 星組貸切公演」のペアチケットご応募申し込み総数は、4,889名（応募率約45.2%）
 ⇒10月29日に「東京宝塚劇場 宙組貸切公演」の抽選結果(当選者にはペアチケット)を発送済
 ⇒12月中旬に「宝塚大劇場 星組貸切公演」の抽選結果(当選者にはペアチケット)を発送予定

【株主優待】宝塚歌劇 Jトラスト貸切公演概要（東京宝塚劇場）



©宝塚歌劇 ※写真は公演内容とは異なります



宙組トップスター 桜木 みなと

©宝塚歌劇 ※写真は公演内容とは異なります



宙組トップ娘役 春乃 さくら



【Jトラスト宝塚歌劇貸切公演（専用サイト）】

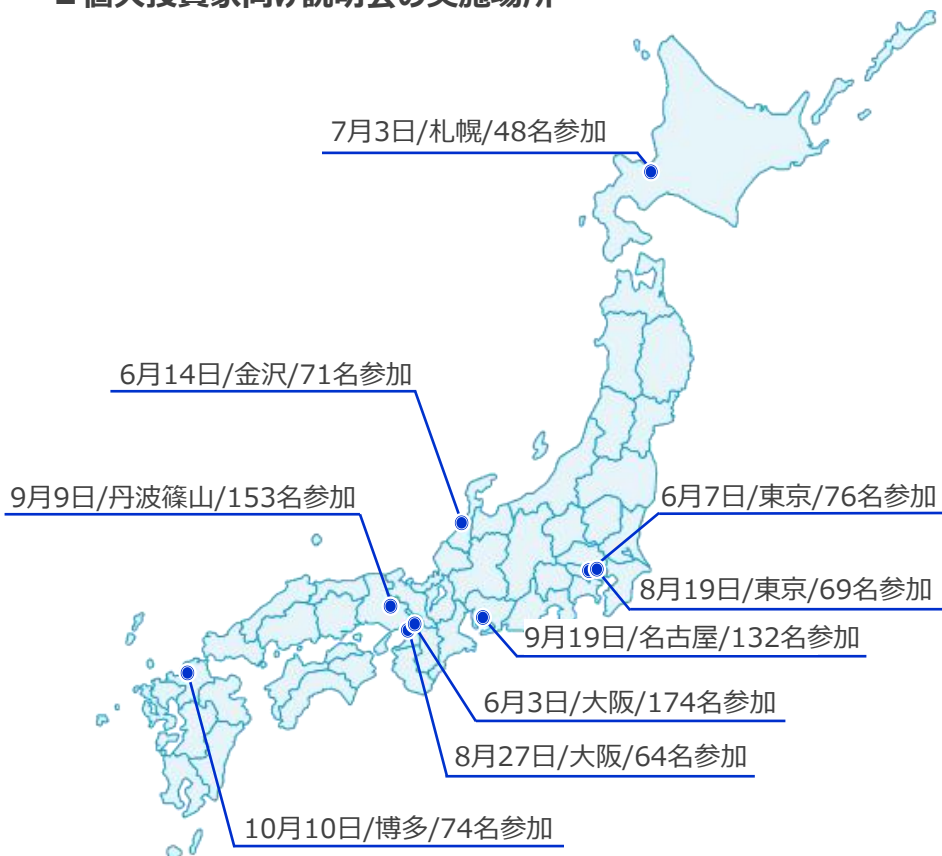
宝塚歌劇貸切公演の詳細は当社HPをご確認ください。
<https://www.jt-corp.co.jp/ir/jstock/yutai2025/>



2025年12月期 IR活動の取り組みについて

➤ 当社の認知度向上および現状と成長ポテンシャルを発信すべく、全国各地で個人投資家向け説明会を実施

■ 個人投資家向け説明会の実施場所



◆ 日本証券新聞社又は日本証券アナリスト協会が主催（※6月7日のみオンラインで、ログミーFinanceが主催）

■ 個人投資家向け説明会の様子



【大阪】北浜フォーラム（8月27日実施）



【博多】JR博多シティ（10月10日実施）

《 2025年12月期の実績 》

実施回数：9回

参加者数：861名

《 2024年12月期の実績 》

実施回数：6回

参加者数：424名

◆ IR活動の予定の詳細につきましては、順次HPやSNS等でお知らせいたします。

【HP】

Jトラスト公式HP(IR情報)



【X (旧Twitter)】

Jトラスト公式アカウント
@JTrust_kouhouir

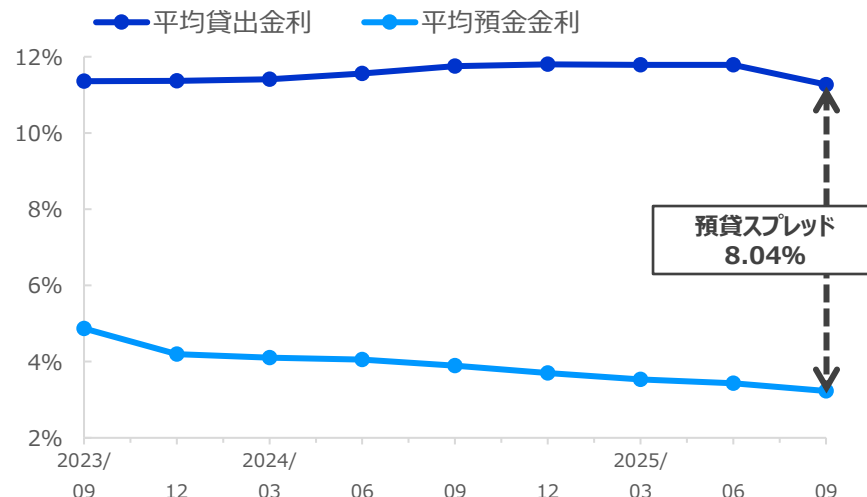


Appendix

銀行業の預貸スプレッド（韓国の貯蓄銀行2行）

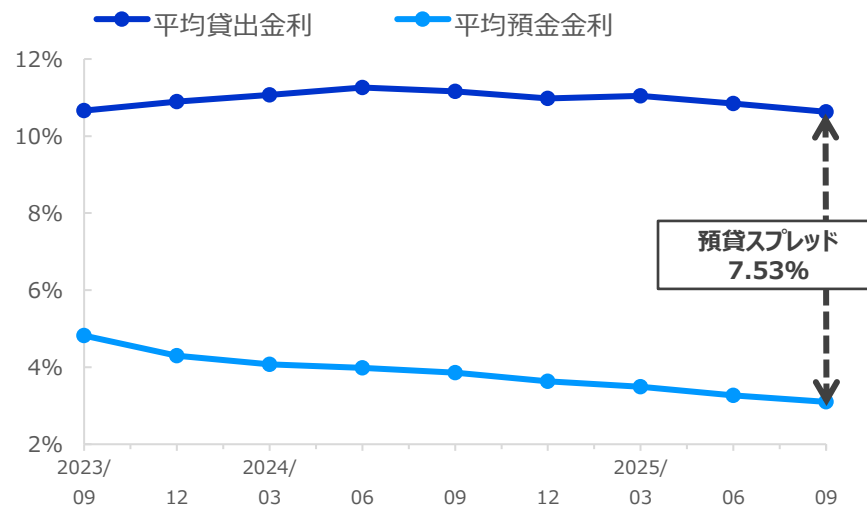
JT 親愛貯蓄銀行

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年9月	4.87%	11.36%	6.49%
2023年12月	4.20%	11.37%	7.17%
2024年3月	4.10%	11.41%	7.31%
2024年6月	4.05%	11.56%	7.51%
2024年9月	3.89%	11.75%	7.86%
2024年12月	3.70%	11.80%	8.10%
2025年3月	3.53%	11.79%	8.26%
2025年6月	3.43%	11.79%	8.36%
2025年9月	3.23%	11.27%	8.04%



JT 貯蓄銀行

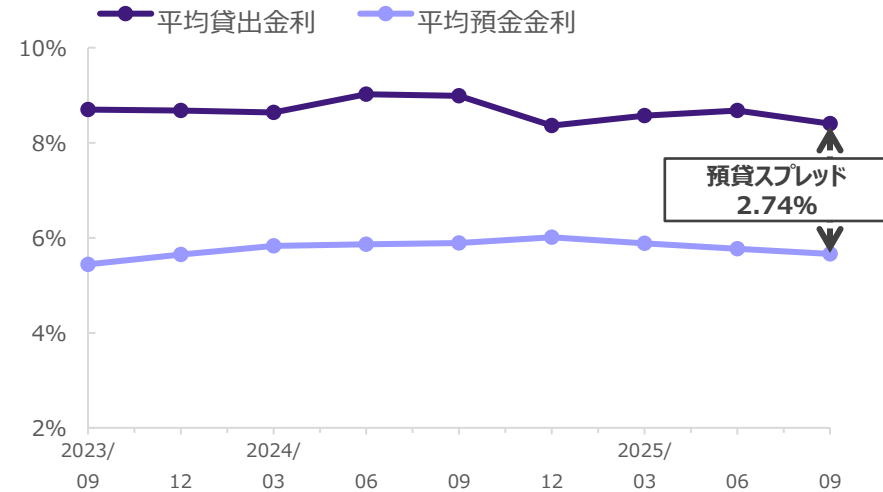
	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年9月	4.82%	10.66%	5.84%
2023年12月	4.30%	10.89%	6.59%
2024年3月	4.07%	11.07%	7.00%
2024年6月	3.98%	11.26%	7.28%
2024年9月	3.86%	11.16%	7.30%
2024年12月	3.63%	10.98%	7.35%
2025年3月	3.49%	11.04%	7.55%
2025年6月	3.27%	10.84%	7.57%
2025年9月	3.10%	10.63%	7.53%



銀行業の預貸スプレッド（東南アジアの銀行2行）

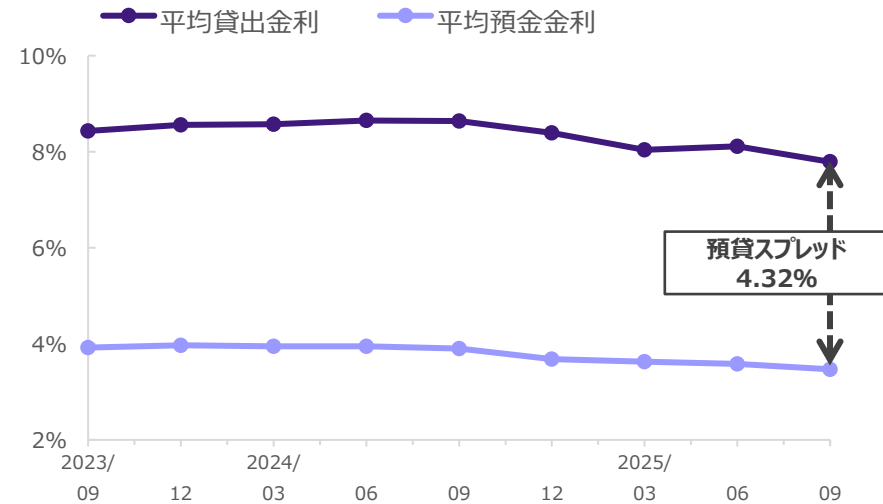
J TRUST BANK（インドネシア） Jトラスト銀行

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年9月	5.44%	8.70%	3.26%
2023年12月	5.65%	8.68%	3.03%
2024年3月	5.83%	8.64%	2.81%
2024年6月	5.86%	9.02%	3.16%
2024年9月	5.89%	8.99%	3.10%
2024年12月	6.01%	8.36%	2.35%
2025年3月	5.88%	8.57%	2.69%
2025年6月	5.77%	8.68%	2.91%
2025年9月	5.66%	8.40%	2.74%



J Trust Royal Bank（カンボジア）

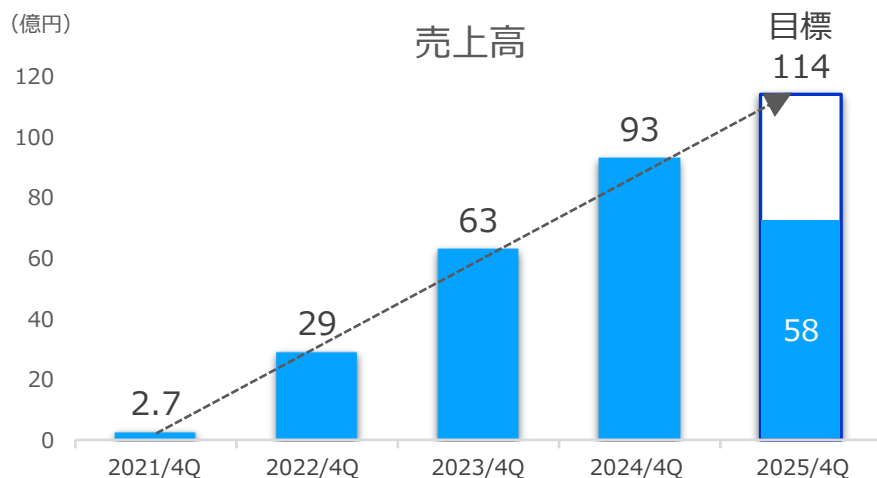
	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年9月	3.92%	8.43%	4.51%
2023年12月	3.97%	8.56%	4.59%
2024年3月	3.95%	8.57%	4.62%
2024年6月	3.95%	8.65%	4.70%
2024年9月	3.90%	8.64%	4.74%
2024年12月	3.68%	8.39%	4.71%
2025年3月	3.63%	8.04%	4.41%
2025年6月	3.58%	8.11%	4.53%
2025年9月	3.47%	7.79%	4.32%



不動産事業の取り組み



- 2025年3Q累計で売上58億400万円
- 不動産特定共同事業 クラウドファンディング第1号（2025年11月10日募集開始 ※即日完売）
- 子会社ライブレントの賃貸管理事業 本年度黒字化を見込む
⇒管理戸数は1,800戸超え（2025年9月末時点）
- 今年3月に設立した子会社グランド保証 初年度黒字を見込む



シリーズ	今期販売予定物件／概要		来期販売予定物件／概要	
J-ARC 新築マンションシリーズ	新宿	民泊併用レジデンス	三軒茶屋Ⅲ	RC造 地下1階地上3階 7戸
	恵比寿Ⅱ	RC造 地下1階地上3階 11戸	下北沢Ⅰ	RC造 4階 7戸
			蒲田	民泊併用レジデンス
			道灌山	RC造 5階 10戸
J-Maison 新築アパートメントシリーズ	獨協大学前	木造 3階 12戸	越谷	木造 3階 12戸
	北戸田Ⅰ	木造 3階 12戸	淵野辺Ⅱ	木造 3階 15戸
			玉川学園前	木造 3階 15戸

小口から始める、不動産1棟オーナーへ。

Owner's Siteは、小口投資を通じて将来的に1棟オーナーを目指すファンドの組成を進めます。

【不特法クラウドファンディング 第1号】 『Vintage Residence中村橋』

本ファンドは、会員の皆様からファンドの資金を原資として、不動産購入をいたします。通常配当＋初回キャンペーン配当で、**年利12%を配当**予定となります。

所在地	東京都練馬区中村北3
交通アクセス	西武池袋線「中村橋」駅 徒歩6分
構造	木造ストレート葺2階建
戸数	14戸/14戸 ※満室稼働中

投資家
登録はこちら



完売御礼



